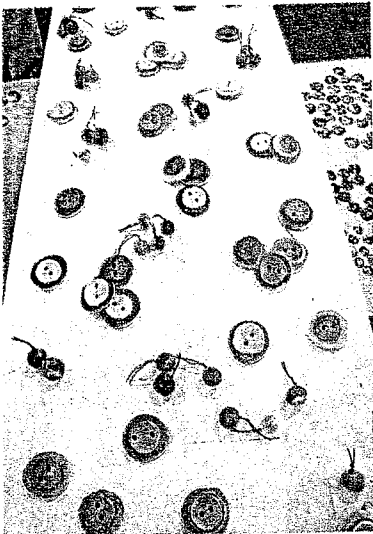
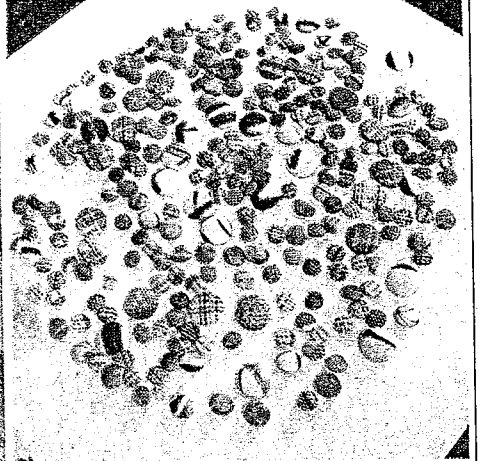


# ボタンが広げる可能性

障害者活動拠点「工房ソラ」と「モーネ工房」がコラボ



①重ねてつくったフェルトボタン。バッグの飾りなどに付けてもかわいらしい ②2600個のボタンが並ぶ会場で笑顔を見せる「工房ソラ」の人たち。壁に展示されているのも、紙でつくった大きなボタン ③カラフルなくるみボタン。さをり織りや草木染、墨書の布など素材はさまざま  
(京都市東山区・ギャラリーju: 彩)



## 京で期間限定ショップ

障害のある人の活動拠点「工房ソラ」(京都市東山区)と、アートや工芸で知られる「モーネ工房」(上京区)が共同で企画した期間限定ショップ「小さなアート ちよこつとボタン店」が、東山区松原町のギャラリー「ju: 彩」で開かれている。陶製にフェルト、紙…。素材も大きさもさまざまなボタンは、ボタン穴に留めるだけではない可能性を秘めている。  
(太田敦子)

## ずらり小さなアート

陶製や草木染

一緒に何かできることはないか? と今春から準備を進めてきた両工房。ボタンの面白さをあげたモーネ工房の井上由季子さんの提案に、ギャラリー代表の松村和子さんが応え、工房に通うスタッフ14、15人が普段つくっている陶器や草木染、さをり織りを生かしたボタンづくりに取り組んだ。

2カ月ほどかけてできたボタンは約2600個。さをり織りや草木染の端切れで作ったくるみボタン、粘土を丸く型抜きした後ひとつひとつに模様を描いた陶製ボタンなど、二つとして同じものはない。大きさも大小と3種類あるので、箸置きや財布のバッグの

アクセントにつけたりと、使い方を工夫するのも楽しい。

ユニークなのは、食品パッケージの空き箱などを細かく切って円形の台紙に張り付けたリサイクルの紙ボタン。黄色系や緑色系、青色系などカラフルな紙ボタンは、ちょっとしたカードに添えてもかわいい。会場の壁には、直径1・8

れ、来場者を明るく迎える。

ボタンは1個100、300円程度で販売しているほか、ギャラリー1階ではフェルトボタンの穴をくりぬいた後の小さな丸い布をつなげたキーホルダーも販売している。7月7日までの木、日曜、午前11時～午後5時。問い合わせは同ギャラリー ☎075(555)8247。